

① 公報やそれを解析したファイルを書き込むフォルダ名(絶対パス)の記入欄

- ② 解析対象言語を選択する欄(英語は0、原語(日本語)は1)
- ③ 一連のファイル群に対して付けた名前(インデックスファイルを区別するための名称)の入力欄
- ④ 公報画面の一覧表において、ヒットしたセルを目立たせるために着色する際の色指定
- ⑤ 巡回モードの指定
 - ・1 のとき: Google Patents 優先、見つからない時に日本公報は J-PlatPat、その他は Espacenet で探索

・2、3、4 のとき、それぞれ Google Patents、J-PlatPat、Espacenet だけで探索

⑥ マークしたいキーワードの入力欄

・最大 15 のキーワード、各キーワードそれぞれ最大 30 種類の同義語、左詰めで記入

- ・キーワードは完全(部分)一致でマークされるので、大文字小文字の区別や、全角半角の区別に注意
- ・除外したいキーワードは、先頭に"-"(マイナス記号)を付加(スペース不要)すれば、マークされない
- ⑦ 公報画面の一覧表に表示するキーワード名の入力欄
- ⑧ 各キーワード群に着色したい色を指定する欄
- ⑨ 公報番号入力欄(公報番号の入力フォーマットは後述)
- ⑩ B列に入力された公報番号を Google Patents 形式に変換した公報番号の表示欄(この欄は入力不可)
- ⑪ B列に入力した公報が見つからなかったりしたときに、より適切な公報番号を再入力する欄

・この列には Google Patents、J-PlatPat、または Espacenet が認識できる形式で公報番号を入力

- ① クリックすると、B列に入力された公報を順次、指定したデータベースからダウンロードし、解析を実施
- ¹³ クリックすると、D列に入力された公報を指定したデータベースからダウンロードし、解析を実施
- ⑭ クリックすると、ブラウザが起動し、Google Patents のサイトが開く
- ⑮ クリックすると、ブラウザが起動し、J-PlatPatのサイトが開く
- ¹⁶ クリックすると、ブラウザが起動し、Espacenet のサイトが開く
- ① クリックすると、インデックスファイルが開くので、リンクをクリックして公報を閲覧可能
- 18 クリックすると、①で指定したフォルダ内の公報とそれを解析したファイルを削除、B~D列もクリア
- 19 処理の進捗状況をプログレスバーで表示

【 Patent Keyword Marker (PKM)の操作方法】

- (1) 最初に必ずインターネットエクスプローラ(IE)の設定(次の2か所)を行う
 - ・IE の「ポップアップブロック」の設定 IE のツール → インターネットオプション → プライバシータブにて 「ポップアップブロックを有効にする」にチェックを入れ、「設定」ボタンをクリック 「許可する Web サイトのアドレス」欄に "*.inpit.go.jp"と入力し、「追加」ボタンをクリック (参考: <u>http://faq3.dospara.co.jp/faq/show/4298?site_domain=default</u>)
 - ・IEの「クリップボードのアクセス許可」の設定
 IEのツール → インターネットオプション → セキュリティタブにて
 「インターネット」が設定されている状態にで、「レベルのカスタマイズ」ボタンをクリック
 「スクリプトによる貼り付け処理の許可」の設定で「有効にする」にチェックし、「OK」をクリック
 「このゾーンの設定を変更しますか」に「はい」をクリック、さらに「OK」をクリック
 (参考: https://teachme.jp/8/manuals/6959082)
- (2) PKM を起動したら、マクロを有効にする (セキュリティの警告に対し「コンテンツの有効化」をクリックする)
- (3) 図の①(セル K1)に、ダウンロードした公報や、解析したファイルを保存するフォルダ名を記入する (絶対パスで指定する、フォルダが存在しないとエラーとなる)
- (4) 図の②(セル J20)に、解析対象の言語を 0(英語)か 1(原語・日本語)で記入する (ダウンロードする公報の言語でもあり、解析対象キーワードの言語でもある)
- (5) 図の③(セル J22)に、インデックスファイルを区別するための"名称"を入力 (①で指定したフォルダ内に、「index_"名称".html」というファイルができる)
- (6) 図の④(セル M22)に、公報画面のキーワード出現一覧表において、ヒットした部分を目立たせるための色 を指定する
- (7) 図の⑤ (セル P20) に、巡回モードを入力する

・1のとき: Google Patents 優先、見つからない時に日本公報は J-PlatPat、その他は Espacenet で探索
 ・2、3、4のとき、それぞれ Google Patents、J-PlatPat、Espacenet だけで探索

(8) 図の⑥ (セル L4: AO18) に、特許文献中に色分け表示したいキーワードを入力する

- ・最大15種類のキーワード、各キーワードに対してそれぞれ最大30種類の同義語を入力可能、
- ・ 左詰め + 上詰めで入力、解析は指定したキーワードが含まれているかどうかの部分一致で行われる
- ・一致不一致の判定はあいまい検索ではなく、完全一致で行われるので、大文字/小文字、全角/半角に注意
- ・除外したいキーワードは、先頭に"-"(マイナス記号)を付加(スペース不要)すればマークされない
- (9) 図の⑦ (セル J4: J18) に、公報画面のキーワード出現一覧表に表示したいキーワード名を記入する
- (10) 図の⑧ (セル K4:K18) に、マークする各キーワード群に付けたい色を指定 (エクセルの機能を使用して、セルの背景色を指定する)
- (11) 図の⑨(セル B2:B1001)に、対象の公報番号を入力する(入力形式は、たいていの特許データベースの出力に対応していると思われるが、詳細は後述)
- (12) 図の⑫ (「Auto」 ボタン) をクリックする
 - ・B 列の公報を、1 つずつ Google Patents 形式に変換し、C 列に表示
 - ・インターネットで指定したデータベースにアクセスし、公報をダウンロード 巡回モードが1のときには、最初に Google Patents に探しに行き、あればダウンロードするが、見つか らないとき(クレームがない場合も含む)には、自動的に日本公報は J-PlatPat に、その他は Espacenet に移動して、そこで公報を探し、あればダウンロードする

- ・Google Patents からダウンロード中は、C 列の背景色が青色、J-PlatPat/Espacenet からダウンロード中 は紫色となる
- ・ダウンロードできた公報について、続いてキーワード解析が行われる
- ・公報を Google Patents で取得できた場合には C 列の背景色が緑色、J-PlatPat/Espacenet で取得できた 場合には黄色となり、クレームが空の場合には茶色、いずれのデータベースでもダウンロードできなかっ た場合にはピンク色となる
- ・解析後のファイルは「公報番号_2.html」として指定したフォルダに保存される
- ・ダウンロード、解析の間、エクセルの左下の通知欄に、現在の進捗状況が表示される
- (13) C列の公報番号がピンク色や茶色となった公報については、公報番号の見直しを行う
 - ・見直した公報番号は、Google Patents、J-PlatPat または Espacenet が認識できる形式で、図の⑪(D 列) に入力する(このときも、⑤の巡回モードで指定したデータベースを探しに行く)
 - ・この際、図の⑭~⑮のボタンをクリックすると、Google Patents、J-PlatPat または Espacenet が開くので、ここで公報番号を試行錯誤入力し、適当な公報があれば、その番号を⑪(D列)に入力する
 - ・新しい公報でまだ収録されていない場合には、対応する別の公報番号を入力するとか、特許 Family を見つけて、その公報番号を入力する。また EP や WO などの場合、公報番号の末尾の記号を変えてみる (EP○○○○○○A という公報番号の末尾の A を A1、A2、A3、A4 と変える等)
- (14) (13)の操作を行ったら、続いて図の③(「Manual」ボタン)をクリックする ・①の D 列に入力された公報が順にダウンロードされ、キーワード解析が行われる
- (15) 図の⑰ (「Browse」 ボタン) をクリックすると、インデックスファイルが開く
 - ・インデックスファイルのリンクをクリックすることで、個々の解析済み公報が開く
 - ・各公報の右上の「Prev」「Next」リンクをクリックすると、それぞれ前後の公報が開く
 - ・各公報の右上の「Index」リンクをクリックすると、インデックスファイルが開く
- (16) キーワードを修正・追加・削除などして再解析したいときは、⑤のキーワードを適宜修正した後、 ⑫の「Auto」ボタンや⑬の「Manual」ボタンをクリックして再解析を行う
- (17) 一連の作業が終了し、フォルダ内やシートをクリアするとき、図の18(「Clear」ボタン)をクリックする ・解析済みのファイルをすべて消去され、B~D 列もクリアされる
 - ・解析済みのファイルを残しておきたいときには、別場所に保存する等、適切に対応する必要あり

【公報の入力フォーマット】

- JP 公開:特開 2017-123456、特開平 08-123456、特開昭 61-123456、JP2018123456A 公表:特表 2017-523456、特表平 08-523456、特表昭 61-523456、JP2018523456A 再表:再表 2017-123456、W017/123456、W02017/123456、JPW02017-123456 公告:特公昭 63-123456、特公平 08-123456、JPS63123456B2、JPH08123456B2 登録:特許 01234567、JP5671234B2
- US 公開:US2017-123456、US2017123456 登録:US1234567(US9,999,999まで)、US12345678(US10,000,000以降)
- WO 公開:WO2017-123456A、WO2017123456A
- EP 公開: EP1234567A 登録: EP1234567B
- CN 公開: CN123456789A 登録: CN123456789B 実案: CN123456789U
- RU 公開:RU2017-123456A、RU2017123456A 登録:RU1234567C



位置関係とを計詞,前記自律移動時における前記動作類型の組み合わせを補正する請求項1に記載の雷気場除機

